

23

まず味わうべきこと

げつようび

使徒
27章 24節

こういいました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

神様は、レムナントのパウロに強大国ローマに福音を伝える使命を与えられました。それは、世界を生かすための神様の計画でした。神様は時代ごとにローマを準備されています。それは「文化的ローマ」と「学問的ローマ」です。私たちが勉強して新しく経験するあらゆる分野にそれぞれローマがあるということです。そのローマに入って、その中にいる人々に福音を伝えれば、世界福音化が成り立つでしょう。それなら、いったい私のローマはどこでしょうか。

ローマを見つける前に、まずすべきことがあります。時空を超越する御座の祝福を味わわなければなりません。そして、三位一体の神様がともにおられるという事実を契約で握って祈るときに答えてくださることを体験しなければなりません。そして、神の子どもという身分と背景、権威を味わわなければなりません。この祝福を味わうことができなければ、絶対にローマを征服することはできません。今日も私の身分と権威を味わって、神様が私に与えてくださったローマを征服するレムナントになりましょう！

きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。いまの時代を見て、私のタラントを発見し、私が行くべきローマを見て、征服することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

自分が行かなければならないローマのために準備すべきことを知って導かれたパウロの告白があります。今日のみことばで受けたその告白を書いて、まず、私がローマに行く準備ができるように祈りましょう。

Large writing area with a decorative border and a small illustration of flowers.

きょうのでんどう

会う人

Grid writing area for the daily devotion.

準備する資料

Blank lined area for preparing materials.

かようび

使徒
9章 15節

しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」

ある人は貧しい家に生まれたことを恨みます。また、ある人は勉強できる環境ではないので落胆します。そして、ある人はからだが強くて思う存分活動できない現実にとても苦しみます。しかし、実は神様の計画は私の最も弱いところにあります。それゆえパウロは、私の弱さを誇ると言いました(Ⅱコリント 12:1-10)。弱さが良いから誇るものではありません。その弱さをもって祈るとき、神様のさらに大きな計画を発見して、私に対する神様の愛を悟るようになるからです。

聖書と歴史の中で大きな答えを受けた人々は、自分の弱点だけでなく、時代と世の中の問題を見て祈りました。パウロはユダヤ主義に陥ったイスラエルを見て、異邦人に対する神様の御声を聞きました。今、私の最も大きな悩みは何でしょうか。その悩みには神様の計画が隠されています。悩みと心配から逃げるのではなく、神様に祈りで質問しましょう。そのとき、苦しいことがかえって祈りの道具になることを体験するでしょう。



きょうのみことば

Handwriting practice lines for the daily verse.



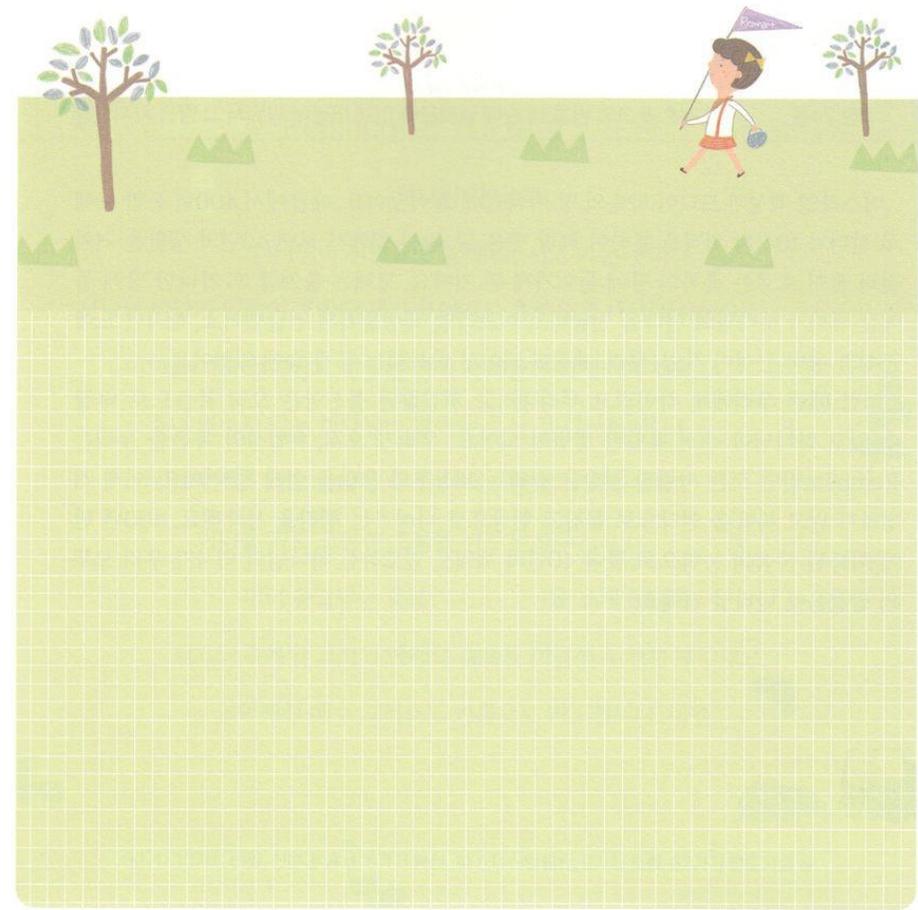
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。恨みや不平不満につかまるのではなく、神様の計画を見つけるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン



絵をかこう

全世界237か国の福音化のために神様が私にくださった夢と任された国について祈って絵日記を書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

Handwriting practice lines for the church meeting.

じゅんび
準備する資料

Handwriting practice lines for preparation materials.

立ち上がれ。出発せよ。

しんめいき
申命記
しょうせつ
2章 24節

立ち上がれ。出発せよ。アルノン川を渡れ。見よ。わたしはヘシュボンの王エモリ人シホンとその国とを、あなたの手に渡す。占領し始めよ。彼と戦いを交えよ。

イスラエルの民がいよいよ約束の地カナンに入りました。エジプトで400年間、奴隷として生きてきましたが10の奇跡を通して解放された後、荒野で過ごした40年の生活が終わって、乳と蜜が流れる祝福の地に入ることになったのです。モーセは、出エジプトした後、カナンの地に入る時まで、神様の契約を受けてイスラエルの民に伝えました。しかし、奴隷根性と荒野根性が刻印、根、体質になっていたので、繰り返す問題の中にいました。

このように私たちに刻印されて根をおろして体質化された不信仰は、ただ福音によってだけ変えることができ、福音だけが神様がくださった唯一の方法になります。私たちがただ、唯一性の福音を味わうレムナントならば、すべての人と現場を生かす再創造の答えを受けるようになるでしょう。もう心配することなく、福音を契約として握って現場に出発しましょう。400年ぶりに回復した福音の力で荒野40年の歲月も導かれた神様のみわざが私たちみんなの歩みにも現れるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。消えてしまった福音を回復して味わうレムナントとして、ただ、唯一性、再創造の証人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

神様の契約を握ったレムナントは、聖書の人物のように、いつでもどこでも勝利することができます。私たちに与えられた<7大旅程の祈り文>の()にことばを入れて、信仰の告白をしましょう。



レムナントの7大旅程の祈り文

神様、感謝します。

神様が聖霊でもにおられ、行くすべてのところに

神の国が臨み、暗やみの権威が崩れる祝福を与えてくださって感謝します。

()

どこに行っても生き残って生かす者の祝福を味わうことができますように。

()

絶対に変わらない神様の土台をくださったことを感謝します。

()

どんな問題が来ても勝利することができる確信を持つことができますように。

()

どこに行っても、静かに流れを変えることができますように。

()

あらかじめ受けた祝福()を見ることができ

最高の祝福である教会と礼拝の祝福を思う存分、味わうことができますように。

生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン



(入れることば)

10の奥義、身分と権威、5つの確信、10の信仰の土台、9つの流れ、62の伝道者の生活

きょうのでんどう

会う人

Grid area for writing names of people to pray for.

準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

26

主が戦われます

もくようび

申命記
3章 22節

彼らを恐れてはならない。あなたがたのために戦われるのはあなたがたの神、主であるからだ。

いままで行ったことがないところに行くとき、どうしますか。インターネットを使って地図や道案内機能を駆使して安全で早く行ける道を見つけて行くでしょう。イスラエルの民は、一度も行ったことがないカナンの地へ行く道を荒野40年の歳月を通して探すことになりました。この期間は、捨てられた時間ではなく、神様の力と神様の導き、そして、ただ福音、唯一の福音、私と現場を再創造される神様を見る福音を悟る現場でした。カナンの地は、乳と蜜の流れる地でしたが、7部族31人の王が統治している地域でした。このとき、神様はイスラエルの民にただ福音の契約を持ってその現場に入れば、神様が戦うと言われました。

私たちは神様より目に見える現実を信じることが多いです。目に見える多くのできごとと人は、恐ろしく見えますが、神様自身が私たちのために戦うと言われました。イエス様をキリストとして送ってください、戦わないで勝つ祝福も与えてくださいました。これが神様が私たちに言われた霊的戦争、すでに勝った戦争、すべての人を生かす戦争であるという契約を覚えましょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the verse.

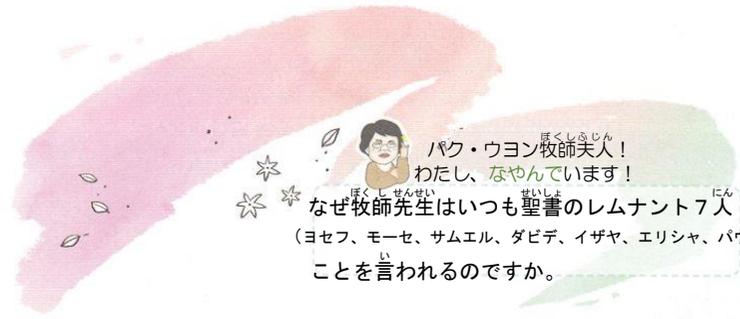
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。永遠の契約という道しるべを通して、神の国、聖霊の満ち、世界福音化の祝福を味わいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



今月の悩みを見てみましょう！

なやんでいます



バク・ウヨン牧師夫人！
わたし、なやんでいます！
なぜ牧師先生はいつも聖書のレムナント7人
(ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、イザヤ、エリシャ、パウロ)の
ことを言われるのですか。

なぜだと思いませんか。私も伝道者である牧師先生の考えを正しく知ることができなくて、なぜだろうと思っていました。牧師先生に直接質問すれば、正確に知ることができるでしょうけれど、ずっとメッセージを聞いてきて思うようになった内容があります。おそらく、時代ごとに、その時代を契約の目で見えるための代表的人物を選ばれたのだろうということです。

たとえば、エジプト時代をヨセフとモーセ、ペリシテ時代をサムエルとダビデ、アラム時代をエリヤとエリシャ、初代教会時代をパウロとテモテで見ることができるでしょう。また、私が推測しているのは、彼らのことを詳しく調べてみれば、特別な共通点が見えてくるだろうということです。イスラエルの危機のたびに主なる神様が代わりに戦われたこと、そして、彼らはその時代を信仰で生かした残りの者（レムナント）だったということです。そして、このように聖書に記録された内容をタラップン伝道運動をともにしているレムナントたちに伝えることによって、彼らがこれから来る世界的危機を福音によって解決するレムナントとして育てることを期待されているのだと思います。

あなたは、特にどのレムナントが好きですか。私は信仰で夢を見たヨセフが好きです。自分が好きな人物を決めて、関連している聖句を見つけて、心に刻んで、時代と民族を生かす証人の夢を見てみませんか。私たちが聖書のレムナント7人のように、時代的、代表的、契約的、記念碑的、不可抗力的レムナント運動の中にも入りましょう！

きょうのでんどう

会う人

Blank lines for writing names of people met during the week.

準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

27

こころ さだ 心に定めたレムナント

きんようび

ダニエル
1章8～9節

ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。神は宦官の長に、ダニエルを愛しいつくしむ心を与えられた。

全世界237か国には、福音を一度も聞いたことない5000以上の種族がいます。中東、イスラエルに与えられた福音は、ヨーロッパを経てアメリカへ、アメリカを経て私たちの国へと伝えられました。これからは全世界237か国と5000種族が、私たちを通して福音を聞くことが神様の願いです。

イスラエルの民は福音を伝える伝道と宣教の祝福の証人として呼ばれました。しかし、奴隷、捕虜、属国、戦争によって国を失い、方々の国に散り散りになる痛みもありました。しかし、その痛みすべてを神様は伝道と宣教のための土台にされました。また、ダニエルと三人の同僚は捕虜だったのですが、バビロンを治める祝福の地位につくようになりました。獅子の穴と、火の燃える炉に入るような苦しい状況でも、全世界に福音を伝える祝福の証人になりました。いま神様はレムナントを通して世界福音化することを願っておられます。今日、私とその契約を握るならば、絶対不可能に見える世界福音化の絶対可能な証人にして下さるでしょう。



きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ダニエルのように、神様の願いを心に定めて全世界237か国に福音を伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを
てまよう
適用しよう

今月、神様に感謝したことはなんですか。
感謝したことを思い出して、下の質問に答えましょう。

両親に感謝したこと

先生に感謝したこと

教会に感謝したこと

友だちに感謝したこと

自分に感謝したこと

すべての主権者である神様に感謝すること



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Grid area for writing the daily devotion and preparation materials.

28

レムナントが サミットになる時刻表

どうび

出エジプト
3章 18節

彼らはあなたの声に聞き従おう。あなたはイスラエルの長老たちといっしょにエジプトの王のところに行き、彼に『ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください』と言え。

モーセはエジプトの王宮で育ちました。王宮で幼い時から政治と経済、社会と文化などあらゆることを学びました。しかし、ある日、自分の民族であるヘブル人がエジプト人に苦しめられている姿を見たモーセは、思わずエジプト人を殺す罪を犯してしまいました。それゆえ、ミデヤンの荒野に逃げて40年間、隠れて過ごすことになりました。しかし、その時は神様がモーセをレムナントサミットとして準備してくださる重要な時刻表でした。モーセは80歳の老人になったのですが、神様に召されて、奴隷だったイスラエルを出エジプトさせ、神様が約束されたカナン之地へと導きました。

レムナントは、今の姿がみことばとは違って小さくて弱いもののように見えることがあります。このときこそ、レムナントモーセの幼いときに握った契約が、80歳の老人になっても必ず成し遂げられたことを覚えましょう。神様はこのように福音を持つレムナントひとりを探しておられます。いま契約を握れば、神様が祝福された福音の流れに入って世の中を生かすサミットになるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily message.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。新しく始めることができますように。小さくて弱い私ですが、契約を握って霊的サミットの祝福を味わいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



モーセと彼をいちばん助けてくれたイテロが話をしている絵を見て隠れている絵をすべて見つけましょう。

ろうそく、ハート、アイスクリーム、賞、旗、三日月、器



イテロ

「優れている」「卓越」「有名」「豊か」という意味をもつ名前です。ミデヤンの祭司で、モーセのしゅうとでした。「神様の友だち」を意味する「レウエル」（出2:18、3:1、18:1）が本名で、「イテロ」は祭司、または族長の身分を表す名前だと言われています。モーセは、イテロの娘 チッポラと結婚し（出2:16-22）イテロの羊を飼っていた時にホレフ山で神様に会いました（出3:1）。モーセが神様の召命を受けたとき、エジプトに帰ることを許し（出4:18-26）、出エジプトをしたモーセと荒野で再会したときは、それまで神様がなさったことを聞き、神様をほめたたえ、犠牲のいけにえをささげるなど、モーセを助けて出エジプトした後の重要な役割を果たしました（出18:1-27）。その後、彼はモーセと別れて、自分の故郷に帰りましたが（出18:27）、イテロの息子「ホバブ」は、イスラエルの民の荒野の旅を案内する役割を担いました（民10:29-32）。士師記では、ホバブをモーセの義兄弟だと紹介しています（士4:11）。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank grid area for writing the daily devotion and preparation notes.